

庁舎かわら版
第12号



市では、新庁舎整備（平成32年供用開始）に向けて準備を進めています。

11月に市民ワークショップを2回開催し、現庁舎内を見学したほか、市民から親しまれる庁舎にするための方策について活発な意見交換を行っていただきました。

今号では、ワークショップで出された意見などを紹介します。

●問合せ→市新庁舎準備室 ☎内線 2203



利用しやすく
親しまれる庁舎とは

本庁舎整備の取り組みについては、「事業費」、「事業期間」、「市民文化センターとの分離」など、多くの制約がありますが、「利用しやすく親しまれる庁舎」とするため、市民公募によるワークショップを開催しました。

現段階の新庁舎平面図（案）

を確認していただいたほか、現庁舎の見学や他の自治体の庁舎事例紹介なども参考に建設的な



延べ19名の参加者で活発な意見交換

意見交換が行われました。



第1回 11月19日
① 現庁舎を見学
② 現庁舎改善点の意見交換

●意見交換で出された要望など

- ▽案内表示が分かりにくい
- ▽体が不自由な方も利用しやすいよう、バリアフリー対応を
- ▽通路にポスターやロッカーが雑然と並んでいる。職員の机も整理されていない
- ▽議場は、机やイスを可動式にして、多目的利用ができるようにするべき
- ▽来庁者が休憩できるスペースがあると良い
- ▽子育て・福祉関係の相談など、プライバシーを守る相談室があるべき

き。部屋数も多いほうが良い



相談室・相談ブースを併設（東京都立川市）



第2回 11月26日
① 他自治体の庁舎事例
② 親しまれる庁舎の意見交換

●意見交換で出された要望など

▽（平面図を見て）キッズコーナーを待合スペースに近い場所に設置してほしい



受付に併設したキッズコーナー（東京都立川市）

▽案内表示は、文字や記号、色を効果的に使うと分かりやすい
▽総合案内は必要だと思うが、配置する職員は専任か当番制かなど検討

するべき



視認性の良い総合案内（東京都町田市）

▽特産品などの展示は、デジタルサイネージ（大型モニター）を活用するなど、より楽しめるような展示をしてほしい



大型モニターを活用（山梨県甲府市）

▽議場の机配置は、議長、議員、市長や職員、傍聴者それぞれお互いの顔が見える配置が良い

この他にも、多くのご意見をいただきました。いただいたご意見の反映については、議会・本庁舎整備検討市民委員会で確認いただいた後、1月下旬にホームページなどで公表します。